

事例番号:370005

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 30 週 5 日 超音波断層法で羊水量正常、胎児スクリーニングで異常なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 32 週 4 日

時刻不明 胎動消失のため搬送元分娩機関受診

11:54- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動減少、一過性頻脈消失

13:50 胎児機能不全のため当該分娩機関へ母体搬送され入院

4) 分娩経過

妊娠 32 週 4 日

15:03 胎児機能不全のため帝王切開で児娩出

胎児付属物所見 臍帯過捻転、辺縁付着、臍帯巻絡頸部 1 回あり

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:32 週 4 日

(2) 出生時体重:1600g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.38、BE -0.3mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 4 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 31 日 頭部 MRI で脳室拡大、大脳基底核・視床に明らかな信号異常を認め、低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

- (1) 施設区分: 病院
- (2) 関わった医療スタッフの数
医師: 産科医 1 名
看護スタッフ: 助産師 2 名

〈当該分娩機関〉

- (1) 施設区分: 病院
- (2) 関わった医療スタッフの数
医師: 産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 2 名、研修医 1 名
看護スタッフ: 助産師 1 名、看護師 2 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 30 週 5 日の妊婦健診以降、入院となる妊娠 32 週 4 日までの間に生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血によって中枢神経系障害をきたし、低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考えられる。
- (2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性を否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 搬送元分娩機関における妊娠 32 週 4 日、妊産婦からの電話連絡への対応 (胎動が少ないという訴えに対し来院を指示)、および来院時の対応 (分娩監視装置装着) は、いずれも一般的である。
- (2) 胎児心拍数陣痛図で、胎児心拍数基線 160-165 拍/分、基線細変動 2-3 拍/分以下、乏しい、刺激にても一過性頻脈なし、一過性徐脈なしとの所見から胎

児機能不全と判断し、当該分娩機関へ搬送としたことは一般的である。

- (3) 当該分娩機関における妊娠 32 週 4 日の入院時の胎児心拍数陣痛図の判読（一過性頻脈が乏しく基線細変動減少または消失）と対応（内診、血液検査実施、帝王切開決定）は、いずれも一般的である。
- (4) 帝王切開決定から 38 分後に児を娩出したことは一般的である。
- (5) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (6) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生（バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管）は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

妊産婦からの診療時間外における緊急時の電話連絡の対応について体制を整えることが望まれる。

【解説】 本事例において、妊産婦は当該分娩機関へ電話連絡し、胎動がないと夜間窓口に伝えたものの、産婦人科での対応はされなかった。妊産婦からの診療時間外における緊急時の電話連絡には産婦人科で対応する体制を整え、妊産婦へも緊急時の電話連絡の方法を伝えることが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児期に中枢神経系障害を発症した事例について集積し、原因や発症機序について、研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

胎児期の中枢神経系障害発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。